

※ キャタスポンジ、V型ダッペン は再使用禁止

AQボンドSP

【禁忌・禁止】

本材又はメタクリル酸エステル系モノマー、アクリル酸エステル系モノマー、アセトンに対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと(使用上の注意の項参照)。
キャタスポンジ、V型ダッペン は再使用禁止 [感染のおそれがあるため]

【形状・構造及び原理等】

1.形状

以下の構成成分があり、記載の成分を含有します。

構成成分	性状	組成
ボンド	液体	アセトン、メタクリル酸エステル類(4-META、その他)、アクリル酸エステル類、水、その他
キャタスポンジ	粉末	芳香族アミン、芳香族スルフィン酸塩

付属品: V型ダッペン

2.構造

本品は液体及びスポンジに担持された粉末である。

3.原理

光照射すると、液成分のモノマーが重合反応して、硬化する。

【使用目的又は効果】

象牙質を含む窩洞・欠損への接着に用いる。

【使用方法等】

* 1. 歯科充填用コンポジットレジンの充填修復

① 歯面処理

通法に従って、窩洞形成を行います。

エナメル質が多い窩洞の場合は、市販の歯科用エッチング材を歯面に塗布し十分に水洗、乾燥します。市販のエッチング材を使用する場合は、各製品の「添付文書」に従って行ってください。

② 歯面塗布

a. 付属のV型ダッペンにキャタスポンジを1個取り出し、その上にボンドを1～2滴滴下し、キャタスポンジでボンドを攪拌・混合します。

注意: V型ダッペンに滴下したボンドは3分以内に使用してください。
他のダッペンを使用する場合は、揮発が速く性能が損なわれるおそれがあるため、速やか(1分以内)に使用してください。

b. 混合液を歯肉に付着しないように注意しながら歯面に塗布し、塗布面を10～20秒間は湿潤状態を保ってください。

c. 塗布液が飛散しないよう初期のエアークラッシュに注意しながら、5～10秒間しっかりとエアークラッシュします。

※③ 光重合硬化

可視光線照射器にて光照射硬化させます。

光照射は下記の条件を目安に光照射します。

光照射器の種類	光強度	照射時間
ハロゲン	500mW/cm ² 以上	3秒
LED	1000mW/cm ² 以上	

④ コンポジットレジン充填

コンポジットレジンを充填して硬化させます。硬化後、通法に従って仕上げ研磨等を行ってください。コンポジットレジン使用にあたっては、各製品に付属の「添付文書」に従ってください。

* 2. 間接修復法の前処理としてのシーリング及び根面露出等の処置

① 歯面処理

処置する歯面の清掃と乾燥を行います。

② 歯面塗布

a. 付属のV型ダッペンにキャタスポンジを1個取り出し、その上にボンドを1～2滴滴下し、キャタスポンジでボンドを攪拌・混合します。

注意: V型ダッペンに滴下したボンドは3分以内に使用してください。
他のダッペンを使用する場合は、揮発が速く性能が損なわれるおそれがあるため、速やか(1分以内)に使用してください。

b. 混合液を歯面に塗布し、塗布面を10～20秒間は湿潤状態を保ってください。

c. 塗布液が飛散しないよう初期のエアークラッシュに注意しながら、5～10秒間しっかりとエアークラッシュします。

③ 光重合硬化

可視光線照射器にて光照射し、硬化させます。光照射は前記で示した照射時間を目安に行ってください。

④ 低粘度コンポジットレジン塗布

低粘度の光重合型の歯科コンポジットレジン歯面に薄く塗布して、硬化させた後、表層の未重合層を除去します。

コンポジットレジン使用にあたっては、各製品に付属の「添付文書」に従ってください。

※ [使用方法に関連する使用上の注意]

- 1) 市販の歯科用エッチング材は、象牙質にはできるだけ付着させないようにすること。シリカを含有したエッチング材は、性能が低下するので、使用しないこと。
- 2) キャタスポンジには重合開始剤が含まれている。ボンドは必ずキャタスポンジで混合すること。他のスポンジやブラシを使用すると接着性能を発揮しない。
- 3) 混合液の調製は使用直前に行うこと。混合後は速やかに使用すること。
- 4) 混合液塗布面のエアークラッシュが不十分な場合、接着性能が十分に発揮されない可能性があるので注意すること。
- 5) ボンド容器のノズルとキャタスポンジは直接接触させないこと。
- 6) 使用後はすぐに閉栓すること。
- 7) キャタスポンジ、V型ダッペン は性能の担保及び感染防止のため、再使用はしないこと。
- 8) ボンドは可燃性である。火気の近くで使用したり、火気の近くに置かないこと。
- 9) 使い残しの混合液は再使用しないこと。
- 10) 感染予防のため、使用中の製品容器に唾液や血液等が付着した場合はアルコール等で適切に清掃し消毒すること。
- 11) 本材の性能は可視光線照射器の照射能力に依存するので定期的に清掃及びランプ交換などのメンテナンスを行うこと。
- 12) 本材は環境光でも硬化するため、できるだけ早く使用すること。
- 13) 本材を使用する際、患者及び医療従事者は保護眼鏡を使用すること。
- 14) 本材の使用に際し、唾液や血液に接触しないように注意すること。必要に応じてラバーダム等の防湿処置を行うこと。
- 15) 窩洞形成時に露髄又は歯髄に近接した場合には、覆罩等の歯髄保護処置を行うこと。ただし、ユージノール系の覆罩材は使用しないこと。
- 16) レジン系仮封材を使用する場合は、歯科用分離材を併用すること。
- 17) ユージノール系仮封材は使用しないこと。
- 18) 他の製品と混合して使用しないこと。
- 19) 本材と併用して使用する歯科材料、機器及び器具は、それぞれの添付文書等に記載の使用方法及び使用上の注意事項を厳守すること。

※ [使用上の注意]

1) 重要な基本的注意

- ① 本材の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれなどの過敏症状が現れた患者には使用を中止し、医師の診断を受けさせること。
- ② 本材又はメタクリル酸エステル系モノマー、アクリル酸エステル系モノマー、アセトンに対する過敏症の既往歴のある術者は、手袋などを用いて直接本材に触れないようにすること。また本材の使用により過敏症状を起こした場合には医師の診断を受けること。なお、医療用(歯科用)手袋は、本材の直接的接触を防ぐが、一部のモノマー、有機溶媒が短時間のうちに手袋素材を浸透することが知られているので、本材が付着した場合は直ちに手袋を捨て、石鹸を使用して流水で手を十分洗浄すること。
- ③ 本材を口腔粘膜、皮膚、眼に接触させないように注意すること(ラバーダムの使用が望ましい)。付着した場合は、すぐにアルコール綿等で拭いた後、多量の流水で洗浄すること。万一、眼に入った場合は、すぐに多量の流水で洗浄し、必要に応じて眼科医の診断を受けさせること。本材が接触した歯肉や粘膜は白っぽくなったり、水疱、潰瘍等の

症状が生じることがあるが、通常、数日～2週間程度で回復する一過性のものである。改善が認められない場合は、医師の診断を受けさせること。炎症を起こした部位にはブラッシングなどの物理的刺激を与えないように注意すること。

- ④使用するにあたっては、患者の個人差も考慮し、症例に適合するかどうかを判断して使用すること。
- ⑤使用中、水洗中に誤飲させないこと。万一誤飲させた場合は、うがいをさせ、必要に応じて医師の診断を受けさせること。
- ⑥ボンドはアセトンを約40%含有している。取扱中にこぼさないこと。高濃度の蒸気を多量に吸入すると頭痛の恐れがあるので、十分な換気がなされている場所で使用すること。高濃度の蒸気を多量に吸入した場合は、新鮮な空気の場所に移動すること。

2) 不具合・有害事象

本材の使用に伴い、発疹、皮膚炎等の過敏症状が発生することがあります。

【保管方法及び有効期間等】

[保管方法]

- ・ボンドは火気厳禁のこと。
- ・ボンド、キャタスポンジは多湿、直射日光を避け、購入後は冷蔵庫で保管すること。
- ・歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

[有効期間]

2年7ヶ月

[使用期間]

本体に記載の使用期限*までに使用すること。

[記載の使用期限は、自己認証(当社データ)による。]

※(例 ◻○○○○-△△は使用期限○○○○年△△月を示す。)

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：サンメディカル株式会社

住 所：〒524-0044 滋賀県守山市古高町571-2

電話番号：077-582-9980

フリーダイヤル：0120-418-303 (FAX共通)

電話受付時間 月～金(祝日を除く)午前9:00～午後5:30

ホームページ：<http://www.sunmedical.co.jp>